

健やかな成長を願って

笑顔とがんばり子育て応援金贈呈

新たな町民の誕生を祝福し、赤ちゃんの健やかな成長を願い、「小野町笑顔とがんばり子育て応援金」が贈られました。あわせて町有林の間伐材で作られた子ども用いす「おめでたいっすー」と乳児期から読書にふれてもらうための「絵本セット」が贈られました。

贈呈を受けたお子さんは次のとおりです。(敬称略)

古川	詠楽(本町)	川口	千颯(谷津作)
岩崎	愛未(反町)	鈴木	希和(皮籠石)
吉成	春姫(大八)	國分	真澄(飯豊下)
吉田	翔真(大八)	根本	颯土(塩庭一区)
吉田	理桜(荒町)		



内閣総理大臣・福島県知事 メッセージ伝達

社会を明るくする運動



左から副町長、町長、坪井副会長、宗像支部長、杉田会長、郡司庶務

「社会を明るくする運動(法務省主唱)」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動で、今年で71回目を迎えます。

運動展開にあたり、田村地区保護司会の坪井俊治副会長、宗像泰弘小野支部長、郡司茂雄庶務、小野町更生保護女性会の杉田悦子会長が7月1日、役場を訪れ、菅義偉首相および内堀雅雄知事のメッセージを町長に伝達しました。

田村地区保護司会では、推進委員会を設置し、犯罪や非行のない地域社会づくりのための広報活動や作文コンクールなどを例年通り実施する予定です。

明るく住みよいまちに

人権擁護委員委嘱

先崎隆春さん(本町)が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

先崎さんは平成27年から人権擁護委員として活動されており、今回が3期目の委嘱となります。任期は7月1日から3年間です。

委嘱状の伝達式は7月12日に役場で行われ、福島地方法務局郡山支局の菊地京幸支局長から伝達されました。

人権擁護委員は、議会の同意を得て町長が推薦し、法務大臣が委嘱します。人権相談所を開設して相談にあたり、小中学校で人権教室を行うなどの活動を通して、人権思想の啓発に取り組んでいます。

委嘱状を受け取った先崎さんは、「お互いを思いやる心をみんなが持てるよう、啓発活動を続けていきます」と抱負を話してくださいました。

一人ひとりの人権が尊重され、明るく住みやすい小野町にしましょう。



委嘱を受けた先崎さん